



EMBAJADA
del JAPÓN
CUBA

1月の芸術文化交流の活動紹介

2020年1月27日

1月、日本大使館は、これまでご報告した諸行事に加えて、次のような芸術文化交流の活動も行いました。

1 バレエ

1月10日、藤村和広大使は、新たにキューバ国立バレエ団理事長に就任したビエンサイ・バルデス女史を公邸へ昼食会に招き意見交換をしました。

今年は昨年他界された当国バレエ界の至宝アリシア・アロンソ女史の生誕百周年で、10月から11月にかけて記念の国際バレエフェスティバルが開催予定です。ビエンサイ・バルデス女史のイニシアチブで、このフェスティバルに日本からバレエダンサー一組が招待されることになりました。



また報道によれば、日本の女子高校生が日本人として初めてキューバ国立バレエ学校の試験に合格し、近くこの国に2年間のバレエ留学に来るそうです。

2 音楽

日本人ピアニストの川上ミネさんは、1月13日に藤村大使とお昼のテレビ番組「アル・メディオ・ディア」に出演、19日に新春コンサートを行った他、国際ジャズ・フェスティバルの招きにより14日にサンチアゴ・デ・クーバ、18日にハバナで演奏を披露しました。サンチアゴ・デ・クーバでは、出張中の藤村大使、山下藍書記官、竹森久美子委嘱員も地元の方々と一緒に川上さんの演奏に耳を傾けました。



20日には横林直樹参事官が川上さんと共にキューバの代表的なジャズ奏者であるロベルト・フォンセカ氏と、音楽を通じる交流について意見を交換しました。

今回のキューバ訪問で、サンチアゴ・デ・クーバからカマグエイを経てハバナまで陸路で旅行した川上さんは、大いにインスピレーションを得て、今後、この国の各地をテーマにした作品を作曲していきたいとしています。

3 現代芸術

1月17日からハバナ市内で「Feral」という現代芸術の展示会が開催され、長澤伸穂ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校芸術学部長（Professor, Department of Art/Graduate Program Director, Master of Fine Arts, The State University of New York at Stony）が参画、作品を展示されました。藤村大使と林書記官はこの展示会を訪れ、また大使公邸での昼食会で長澤教授、ホルヘ・ベラウリオ・キューバ国立芸術大学(ISA)美術学部長らと意見交換をしました。同教授は次回のハバナ・ビエンナーレに大きな関心を示されました。



このような活動を通じて、日本とキューバの間で芸術文化面での交流が一層進んで行くことが期待されます。

広報文化班
在キューバ日本国大使館
電話: (+53) 7204-3355, 7204-8904
メールアドレス: cultura@hv.mofa.go.jp
www.cu.emb-japan.go.jp
<https://www.facebook.com/EmbajadaJapon.Cuba/>